

< 検査内容変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記の項目におきまして、検査の中止及び検査内容の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえご了承の程お願い申し上げます。

敬具

《検査中止項目》

記

最終受付日 平成28年3月30日（水）

項目コード	項目名	中止理由	代替項目	検査案内 記載頁
125	レシチン・コレステロール・アシルトランスフェラーゼ（L-CAT）	測定試薬の販売中止	代替なし	38
051	総鉄結合能（TIBC） RA		[049]総鉄結合能（TIBC） パソフェナントロリン直接法	54
052	不飽和鉄結合能（UIBC） RA		[050]不飽和鉄結合能（UIBC） パソフェナントロリン直接法	54
2242	癌関連ガラクトース転移酵素（GAT）		代替なし	87

最終受付日 平成28年3月31日（木）

項目コード	項目名	中止理由	代替項目	検査案内 記載頁
509	酸ホスファターゼ（T-ACP）	依頼僅少	[644]前立腺特異抗原（PSA）	37
510	前立腺酸ホスファターゼ（P-ACP）	実施料削除	[2057]前立腺特異抗原（高感度PSA）	37
010	エステル型コレステロール（E-Cho）	実施料削除	代替なし	48
015	遊離脂肪酸（NEFA）	実施料削除	代替なし	
087	トキソプラズマ抗体 LA	測定試薬の販売中止	[2661]トキソプラズマ抗体 IgM [2658]トキソプラズマ抗体 IgG	101
118	RAHA（RAPA）	実施料削除	[023]リウマトイド因子（RF）	111
3015	LEテスト	測定試薬の販売中止	代替なし	111

《検査内容変更項目》

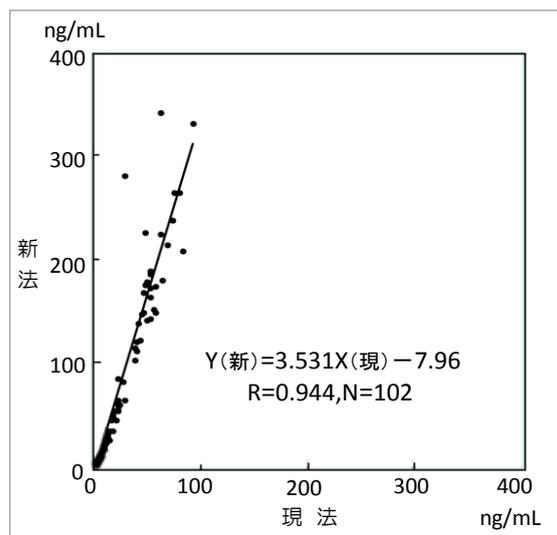
実施日 平成28年3月31日（木）受付分より

項目コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内記載頁
—	アミノ酸分画 〈血漿〉	基準値	フィッシャー比：2.31~4.29	フィッシャー比：2.3~4.3	基準値桁数の 適正化 (フィッシャー 比のみの変更)	44
1019	アミノ酸11分画 〈血漿〉		フィッシャー比：2.31~4.29	フィッシャー比：2.3~4.3		
—	アミノ酸11分画 〈濾紙〉		フィッシャー比：1.21~2.71	フィッシャー比：1.2~2.7		
2071	オステオカルシン (BGP)	項目コード	2665	2071	測定試薬の販売 中止	68
		検査方法	FEIA	IRMA (ビーズ固相法)		
		基準値	8.3~32.7 ng/mL	3.1~12.7 ng/mL		
		所要日数	3~6日	4~7日		
631	カテコールアミン分画 〈蓄尿〉	基準値	A : 1.1~22.5 $\mu\text{g/day}$	A : 1~23 $\mu\text{g/day}$	基準値桁数の 適正化	69
			NA : 29.2~118 $\mu\text{g/day}$	NA : 29~120 $\mu\text{g/day}$		
			DA : 100~1,000 $\mu\text{g/day}$	DA : 100~1,000 $\mu\text{g/day}$		
—	遊離カテコールアミン 分画 (F-CA)	基準値	A : 0.6~14.1 $\mu\text{g/day}$	A : 1~14 $\mu\text{g/day}$	A : アドレナリン NA : ノルアドレナリン DA : ドーパミン	70
—	3-メトキシ-4-ハイド ロキシフェニルエチレ ングルコール (MHPG) 〈蓄尿〉		total 0.22~1.83 mg/day	total 0.2~1.8 mg/day		
2014	セロトニン 〈血液〉		52.8~200 ng/mL	53~200 ng/mL		
2015	セロトニン 〈血漿〉	基準値	623 ng/mL 以下	620 ng/mL 以下	基準値桁数の 適正化	73
—	17-ケトステロイド・3 分画 (17-KS・3分画)		別紙参照	別紙参照		
—	17-ケトステロイド・7 分画 (17-KS・7分画)		別紙参照	別紙参照		
—	ステロイド10分画	基準値	プレグナントリオロン M : 0.50 mg/day 以下 F : 0.50 mg/day 以下	プレグナントリオロン M : 0.5 mg/day 以下 F : 0.5 mg/day 以下	基準値桁数の 適正化	75
—	プレグナンジオール (P ₂)		M : 0.12~0.93 mg/day F(卵胞期) : 0.16~1.28 mg/day F(黄体期) : 0.69~4.70 mg/day F(閉経後) : 1.00 mg/day 以下	M : 0.1~1.0 mg/day F(卵胞期) : 0.2~1.3 mg/day F(黄体期) : 0.7~4.7 mg/day F(閉経後) : 1.0 mg/day 以下		
—	プレグナントリオール (P ₃)		M : 0.25~1.48 mg/day F(卵胞期) : 0.07~1.24 mg/day F(黄体期) : 0.25~1.58 mg/day F(閉経後) : 1.00 mg/day 以下	M : 0.2~1.5mg/day F(卵胞期) : 0.1~1.3 mg/day F(黄体期) : 0.2~1.6 mg/day F(閉経後) : 1.0 mg/day 以下		
459	エリスロポエチン (EPO)	項目コード	2664	459	測定試薬の販売 中止	78
		検査方法	CLEIA	RIA (二抗体法)		
		検体量	血清 0.7 mL	血清 0.5 mL		
		基準値	4.2~23.7 mIU/mL	9.1~32.8 mIU/mL		
—	抗インスリン抗体	基準値	濃度：0.4 U/mL 未満 (濃度値のみの報告)	濃度：0.4 U/mL 未満 結合率：基準値なし	最終委託先の変更	78
—	薬物スクリーニング	検査方法	GC-MS LC-MS/MS	GC-MS	LC-MS/MS法の 採用 (コカイン、ベンゾ イルエクゴニン、 THCカルボン酸体 のみLC-MS/MS)	79

実施日 平成28年4月1日（金）受付分より

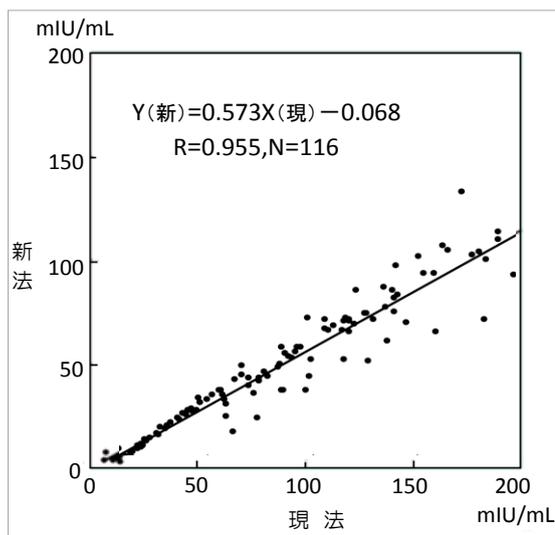
項目コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内記載頁
126	トキソプラズマ抗体 IgM	項目コード	2661	126	高精度試薬の採用 自社検査へ移行	101
		検査方法	CLEIA	EIA		
		検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL		
		基準値	陰性(-) : 0.8 S/CO 未満	陰性(-) : 0.80 C.O.I 未満		
			判定保留(±) : 0.8~0.9 S/CO	判定保留(±) : 0.80~0.99 C.O.I		
			陽性(+) : 1.0 S/CO 以上	陽性(+) : 1.00 C.O.I 以上		
所要日数	3~5日	5~8日				
検査機関	京浜予防医学研究所	保健科学研究所				
127	トキソプラズマ抗体 IgG	項目コード	2658	127	高精度試薬の採用 自社検査へ移行	101
		検査方法	CLEIA	EIA		
		検体量	血清 0.5 mL	血清 0.3 mL		
		基準値	陰性(-) : 7.5 IU/mL 未満	陰性(-) : 6 IU/mL 未満		
			判定保留(±) : 7.5~10.4 IU/mL	判定保留(±) : 6~8 IU/mL		
			陽性(+) : 10.5 IU/mL 以上	陽性(+) : 9 IU/mL 以上		
所要日数	3~5日	5~8日				
検査機関	京浜予防医学研究所	保健科学研究所				
2499	抗Sm抗体 FEIA	基準値	7.0 U/mL 未満	5.0 U/mL 未満	全身性エリテマトーデス (SLE) に対する感度及び特異度が向上した改良試薬へ変更	112
		判定基準	陰性(-) : <7.0 U/mL	陰性(-) : <5.0 U/mL		
			疑陽性(±) : 7.0~10.0 U/mL	疑陽性(±) : 5.0~10.0 U/mL		
			陽性(+) : >10.0 U/mL	陽性(+) : >10.0 U/mL		
測定上限値	480.1 U/mL 以上	150.1 U/mL 以上				
2636	Ara h2	検査機関	京浜予防医学研究所	保健科学研究所	自社検査へ移行	—
1401	Viewアレルギー-36	項目名	Viewアレルギー-39	Viewアレルギー-36	測定アレルギー構成は別紙をご参照ください。	—
		検体量	血清 0.9 mL	血清 0.7 mL		
		測定アレルギー	39アレルギー	36アレルギー		

● オステオカルシン (BGP) 現法と新法の比較



(委託先検討資料)

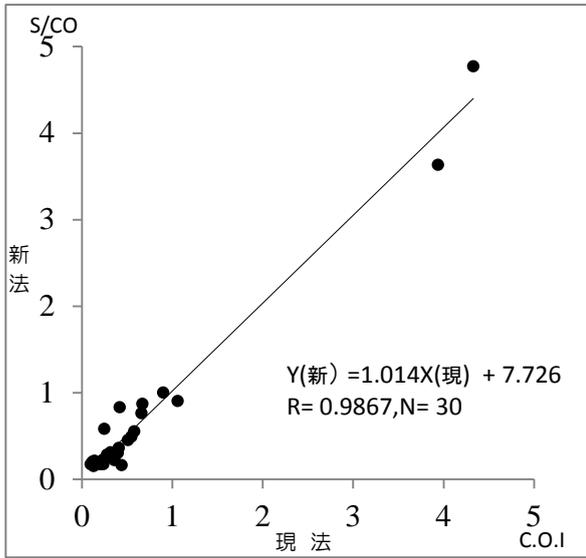
● エリスロポエチン (EPO) 現法と新法の比較



(委託先検討資料)

新試薬はインタクトオステオカルシンだけでなく、オステオカルシンの分解産物も認識するため測定値が高値化しますが、より正確に骨代謝回転状態を反映するため、病態をさらに明確に把握することが可能となります。

●トキソプラズマ抗体 IgM 現法と新法の比較



(自社検討資料)

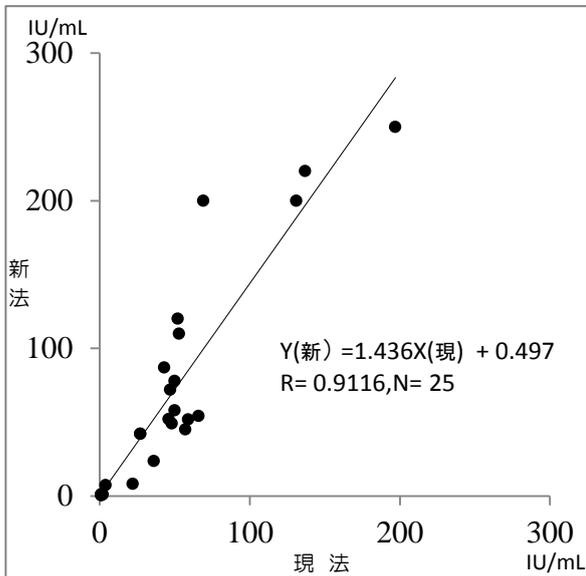
		現法			
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	合計
新法	陽性 (+)	2	1	0	3
	判定保留 (±)	1	0	2	3
	陰性 (-)	0	0	24	24
	合計	3	1	26	30

陽性一致率：66.7% (2/3)

陰性一致率：92.3% (24/26)

判定一致率：86.7% (26/30)

●トキソプラズマ抗体 IgG 現法と新法の比較



(自社検討資料)

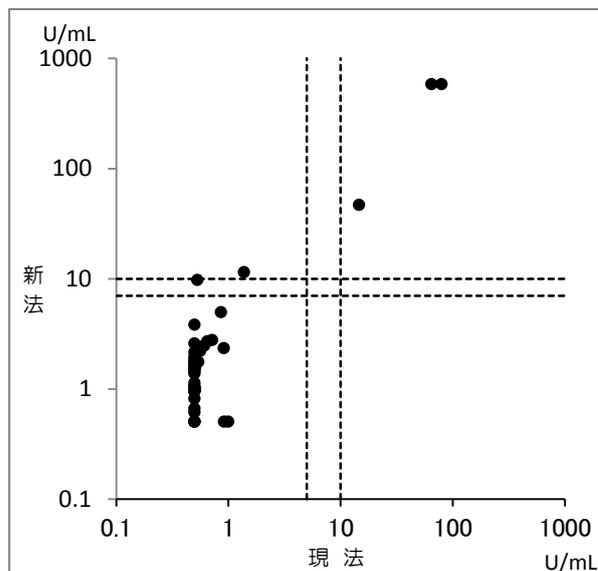
		現法			
		陽性 (+)	判定保留 (±)	陰性 (-)	合計
新法	陽性 (+)	18	0	0	18
	判定保留 (±)	1	0	0	1
	陰性 (-)	0	0	6	6
	合計	19	0	6	25

陽性一致率：94.7% (18/19)

陰性一致率：100.0% (6/6)

判定一致率：96.0% (24/25)

●抗Sm抗体 現法と新法の比較



(自社検討資料)

		現法			
		陽性 (+)	疑陽性 (±)	陰性 (-)	合計
新法	陽性 (+)	3	0	1	4
	疑陽性 (±)	0	0	1	1
	陰性 (-)	0	0	41	41
	合計	3	0	43	46

陽性一致率：100.0% (3/3)

陰性一致率：95.3% (41/43)

判定一致率：95.7% (44/46)

● 17-ケトステロイド分画（17-KS分画） 基準値

		新 (mg/day)		現 (mg/day)	
		男性	女性	男性	女性
3 分 画	アンドロステロン	1.12~4.71	0.22~2.78	1.1~4.8	0.2~2.8
	エチオコラノン	0.43~3.23	0.10~2.39	0.4~3.3	0.1~2.4
7 分 画	デハイドロエピアンドロステロン	2.92 以下	1.49 以下	3.0 以下	1.5 以下
	11-ケトアンドロステロン	0.50 以下	0.48 以下	0.5 以下	0.5 以下
	11-ケトエチオコラノン	0.08~0.63	0.62 以下	0.7 以下	0.7 以下
	11-ハイドロキシアンドロステロン	0.39~2.04	0.19~1.17	0.3~2.1	0.1~1.2
	11-ハイドロキシエチオコラノン	0.54 以下	0.75 以下	0.6 以下	0.8 以下

● Viewアレルギー-39構成アレルゲン

区分	推定されるアレルゲン群	項目名	
吸 入	室内塵	ハウスダスト1	
	ダニ	ヤケヒョウヒダニ	
	樹木花粉	スギ	
		ヒノキ	
		ハンノキ(属)	
		シラカンバ(属)	
	イネ科花粉	カモガヤ	
		オオアワガエリ	
	雑草花粉	フタクサ	
		ヨモギ	
	真菌(カビ)	アルテルナリア	
		アスペルギルス	
		カンジダ	
		マラセチア(属)	
動物	ネコ(フケ)		
	イヌ(フケ)		
昆虫	ゴキブリ		
	ガ		
食 物	食品	牛乳	
		卵白	
		オボムコイド	
		米	
		コムギ(実)	
		ソバ	
		大豆	
		ピーナッツ	
		リンゴ	
		バナナ	
		キウイ	
		ゴマ	
		牛肉	
		豚肉	
		鶏肉	
		エビ	
		カニ	
サバ			
サケ			
マグロ			
その他	職業性アレルゲン	ラテックス	

※ 既存のアレルゲン36項目に赤文字のアレルゲン3項目が追加されました。
各39項目について、個々のindex値とクラスをご報告致します。
判定基準は、従来の「特異的IgE」とは異なります。

● Viewアレルギー-39 判定基準

index値	クラス	判定
0.27未満	0	陰性
0.27 ~ 0.49	1	疑陽性
0.50 ~ 1.79	2	陽性
1.80 ~ 7.04	3	
7.05 ~ 17.34	4	
17.35 ~ 29.30	5	
29.31以上	6	